

新潟県立大学中間評価結果の概要

1 全体・大項目別評価結果（第3期中期目標期間）

全体評価：中期目標の達成状況は『良好』となる見込みである

			年度評価		中間評価
			R3	R4	
全体評価			順調	順調	良好見込
大項目別評価	教育・研究の質向上	1 教育	A 順調	A 順調	A 良好見込
		2 研究	B 概ね順調	B 概ね順調	B 概ね良好見込
		3 地域貢献・国際化	A 順調	A 順調	A 良好見込
		4 業務運営の改善・効率化	B 概ね順調	B 概ね順調	B 概ね良好見込
		5 財務内容の改善	B 概ね順調	B 概ね順調	B 概ね良好見込
		6 自己点検・評価及び情報公開の推進	B 概ね順調	B 概ね順調	B 概ね良好見込
		7 その他 業務運営	B 概ね順調	B 概ね順調	B 概ね良好見込

《評価区分》年度評価、中間評価とも、上からS、A、B、C、Dの5段階で評価

2 中間評価の概要（大項目別）

(1) 教育

- ・社会福祉士国家試験の合格率は2年連続で100%を達成

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
社会福祉士合格率	85	95.0	88.9	91.3	100.0	100.0

- ・人間生活学部健康栄養学科、国際経済学部で高い志願倍率を維持した

(単位：倍)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
人間生活学部健康栄養学科	5.2	6.9	8.2	6.6	7.2	5.8
国際経済学部	6.9	8.1	8.1	9.3	6.9	8.2

(参考2)

- ・学生の授業内容満足度は9割以上の高い水準を維持

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
学生の授業内容満足度	85	95.1	94.2	94.7	95.7	95.9

- ・教員の学生サポート満足度も目標を上回る高い水準を維持

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
教員の学生サポート満足度	80	83.2	80.9	83.0	82.3	86.8

- ・海外の大学等と活発な相互交流を行い、留学生の受入者・派遣者数はコロナ以降、目標を大きく上回っている

(単位：人)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
受入者数	26	33	2	16	35	50
派遣者数	118	155	17	112	193	162

※ コロナ以降R4～

<課題>

- ・卒業時の英語能力は目標を大きく下回っている

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
国際地域学部	50	14.8	13.7	17.9	15.4	12.4
人間生活学部	50	23.8	18.1	26.9	21.1	29.2
国際経済学部	25	6.8	—	—	5.6	8.0

- ・新卒者の県内就職数は目標値を下回っている

(単位：人)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
新卒者の県内就職数	183	130	120	105	153	143

(2) 研究

- ・受託・共同研究件数は、R4以降目標を上回っている

(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
受託・共同研究件数	17	21	13	21	25	25

- ・論文の引用件数等が目標を上回っている

(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
論文の引用件数等	14	34	32	39	32	34

(参考2)

- ・北東アジア研究所において、他大学・研究機関の研究者等と共同研究等を実施するとともに、研究成果を発表するセミナーを着実に実施した

(取組事例：北東アジア地域に属する5か国（中国、北朝鮮、モンゴル、韓国、ロシア）の経済、社会、政治等に関する基盤的な研究を行うとともに、3つの共同研究を開始した)

(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
共同研究数	3	3	－	－	3	3
国際研究集会等の開催件数	6	8	－	－	9	7

<課題>

- ・科学研究費補助金等の出願比率が目標を下回っている

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
科研費補助金等の出願比率	40	22.3	24.6	26.2	22.0	16.6

- ・論文数、査読付き論文数、英語論文数が目標を下回っている

(単位：編)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
論文数	163	101	91	91	103	120
査読付き論文数	90	59	64	47	61	66
英語論文数	58	38	40	35	37	43

(3) 地域貢献・国際化

- ・卒業生を採用した企業の満足度が毎年目標を上回っている

(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
企業の満足度	80	96.3	97.1	93.7	96.9	97.6

- ・公開講座などの教員参画数は目標を概ね上回っている

(単位：人)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
教員参画数	45	130	54	37	49	72

- ・北東アジアに関する自治体・産業界等への助言等は目標を上回っている

(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
セミナー開催数	6	7	－	－	7	8
相談件数	12	35	－	－	27	43

(参考2)

- ・受託・共同研究件数は、R4以降目標を上回っている【再掲】(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
受託・共同研究件数	17	21	13	21	25	25

- ・国・地方自治体の審議会等の委員委嘱数は、毎年目標を大きく上回っている(単位：件)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
国等の審議会等委員委嘱数	95	177	160	183	183	185

- ・海外の大学等と活発な相互交流を行い、留学生の受入者・派遣者数はコロナ以降、目標を大きく上回っている

(単位：人)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
受入者数	26	33	2	16	35	50
派遣者数	118	155	17	112	193	162

※ コロナ以降R4～

<課題>

- ・卒業時の英語能力は目標を大きく下回っている【再掲】(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
国際地域学部	50	14.8	13.7	17.9	15.4	12.4
人間生活学部	50	23.8	18.1	26.9	21.1	29.2
国際経済学部	25	6.8	—	—	5.6	8.0

- ・新卒者の県内就職数は目標値を下回っている【再掲】(単位：人)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
新卒者の県内就職数	183	130	120	105	153	143

(4) 業務運営の改善

- ・令和5年4月に北東アジア研究所及び大学院健康栄養学研究科を開設、令和7年4月に国際経済学部データサイエンス経済コース開設に向け諸準備を行うなど、組織体制の拡充を通じ、大学の魅力向上に取り組んでいる

- ・事務局の学生サポート満足度は目標を上回る高い水準を維持(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
学生サポート満足度	75	74.1	69.8	75.5	74.2	77.1

(5) 財務内容の改善

- ・ 人間生活学部健康栄養学科、国際経済学部で高い志願倍率を維持した【再掲】
(単位：倍)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
人間生活学部 健康栄養学科	5.2	6.9	8.2	6.6	7.2	5.8
国際経済学部	6.9	8.1	8.1	9.3	6.9	8.2

- ・ 自己収入比率は目標を上回っている
(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
自己収入比率	55	65.5	66.5	70.3	64.5	60.7

- ・ 教育研究費比率は目標を上回っている
(単位：%)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
教育研究費比率	20	24.8	26.0	25.6	25.1	22.8

<課題>

- ・ 科研費補助金等の獲得金額は目標を下回っている
(単位：百万円)

	目標	実績平均	R3	R4	R5	R6
科研費補助金 等の獲得金額	40	31.4	38.7	32.7	27.7	26.5

(6) 自己点検・評価等の実施、評価結果の活用

- ・ 令和3年度の大学認証評価結果を受け、令和6年度に法人評価とは分離した学校教育法に基づく教育研究活動等の自己点検・評価の体制を整備した

(7) その他 業務運営

- ・ 令和2年の国際経済学部開設及び子ども学科定員10名増に伴い、令和3年、大学の新たな教育研究拠点となる新校舎（コモンズ3号館）を整備した。また、令和6年、学生・教職員の増進支援を目的とした健康支援センターを同館内に設置した。